

第4章 総合戦略

第4章 総合戦略

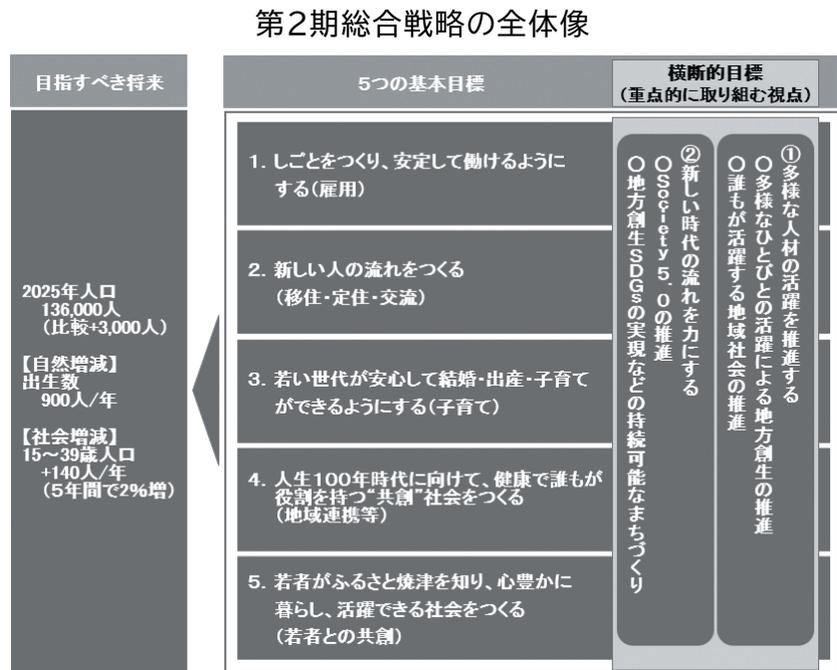
1. 第2期総合戦略の成果

(1) 第2期総合戦略の概要

① 基本的な考え方

第2期総合戦略では、「人口ビジョン」や「第1期総合戦略の成果と課題」を整理し、その中で認識した様々な課題を解決することが、将来目標人口を達成し、焼津市の目指すべき将来につながるとしています。

第1期総合戦略の5つの基本目標の枠組みを引き続き推進するとともに、横断的に対応すべき目標重点的に取り組む視点として位置づけ、5つの基本目標と一体的に施策を推進しています。



(2) 第2期総合戦略の成果

① 第2期における将来目標人口

第2期総合戦略の将来目標人口(総人口、自然増減、社会移動)経過は次のとおりです。

将来目標人口の達成状況(2019~2024年度)

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
将来目標人口(人)	目標値	138,841	138,240	137,639	137,038	136,437	135,838
	実績値	139,217	138,497	137,353	136,623	-	-
	目標と実績の差	376	257	-286	-415	-	-
出生数(人/年)	目標値	900	900	900	900	900	900
	実績値	899	852	862	815	-	-
	目標と実績の差	-1	-48	-38	-85	-	-
合計特殊出生率	目標値	-	-	-	-	-	1.37
	実績値	1.37	1.28	1.28	1.29	-	-
社会増(人)	目標値	+140	+140	+140	+140	+140	+140
	実績値	+291	+32	-322	+235	-	-
	目標と実績の差	+151	-108	-462	+95	-	-
15~39歳の社会増(人)	目標値	+140	+140	+140	+140	+140	+140
	実績値	+176	-22	-411	+130	-	-
	目標と実績の差	+36	-162	-551	-10	-	-

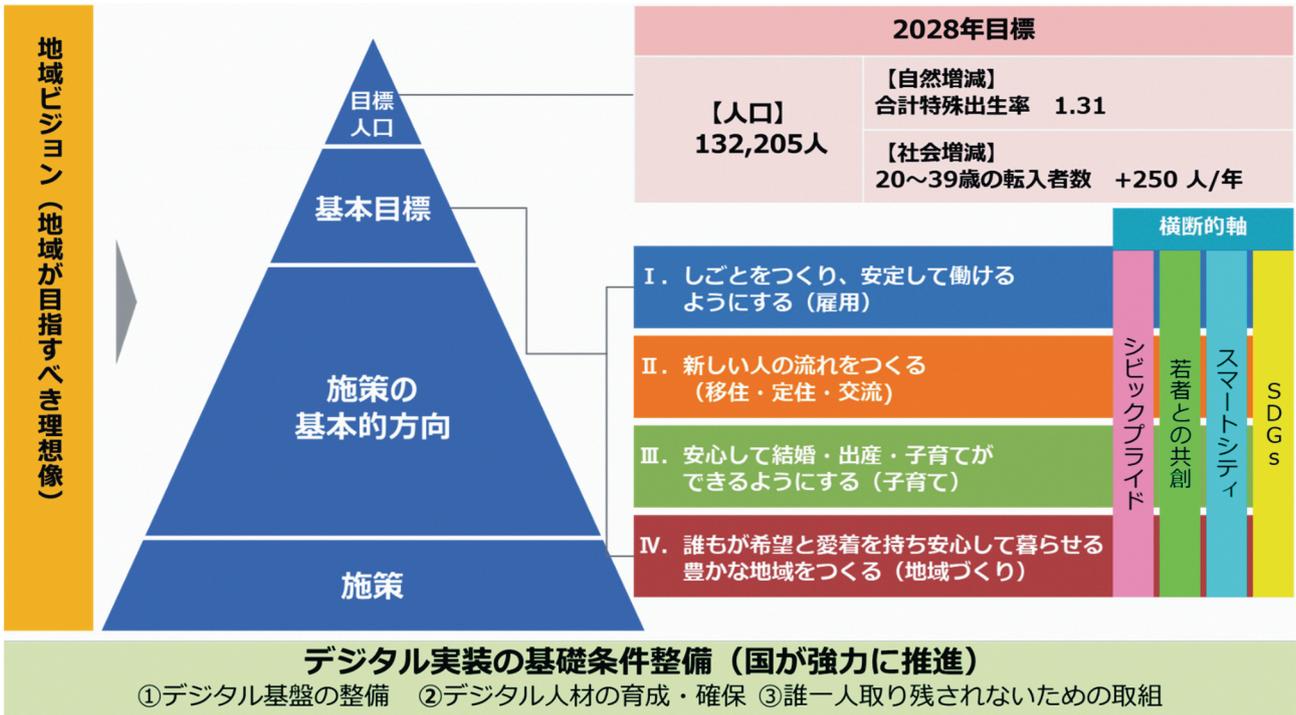
2. デジ田総合戦略の全体像

焼津市が抱える社会課題を十分に認識した上で、その解決を図っていくため、地域ビジョン(地域が目指すべき理想像)を描き、デジタル技術を活用しつつ、人口目標及び4つの基本目標達成に向けた取組を進めていきます。

第2期総合戦略では基本目標としていた「若者がふるさと焼津を知り、心豊かに暮らし、活躍できる社会をつくる」を「シビックプライド」、「若者との共創」の2つに分け、基本目標すべてに係る横断的軸に設定します。さらに、デジタルによる、豊かで快適な新しい暮らしの実現を目指す「スマートシティ」を横断的軸に設定します。

国が強力に推進するデジタル実装の基礎条件整備と連携し、これらの目標達成を目指します。

デジ田総合戦略の全体像



(1) 地域ビジョン(地域が目指すべき理想像)

本市には、豊かな自然資源や水産業を起点に発展した文化を始め、豊富な地域資源があります。こうした恵まれた地域資源を有する強みをいかして、時代にあった産業を創造するとともに雇用を創出し、新しい時代を担う市民の力をはぐくみ、人と未来につなげるまちを目指します。これは市民が共に支え合いながら便利に安全で安心に暮らすことができ、市民一人ひとりが地域に愛着を持って希望を叶えられるやさしいまちの実現を意味しています。

こうしたまちの実現には、これまでのまちづくりに加えて、デジタル分野の新技术などを活用したスマートシティの取組などを推進し、デジタルとアナログの融合による社会課題解決が不可欠です。

また、本市においても少子高齢化・人口減少が進むことが想定されている中で、将来にわたって活力ある社会を維持する地方創生への取組が必要です。

特にデジタル技術を活用した市民生活の質、都市活動の効率性の向上などに加え、これまで積極的に進めてきた防災・減災対策における効果的・効率的な情報発信力の強化などを通じて地域の抱える様々な社会課題を高度に解決することにより、新たな価値の創出や持続可能な地域づくり・まちづくりを進めます。

デジタル技術の発展は、あらゆるものがつながり合うことの時間的・物理的制約を劇的に変えています。これは、本市を取り巻く、人・モノ・情報の交流も大きく広げられる可能性を意味しています。本市の目指すまちづくりや水産業を起点に発展した文化を、市民、事業者、行政が共に市内外、広くは世界へ発信することで交流の輪を大きく広げていきます。

また本市では、2018年(平成30年)に多くの市民のまちづくりへの思いや希望をのせた意見を集約して誕生した「やさしさ 愛しさ いいもの いっぱい 世界へ広げる 水産文化都市 YAIZU」を将来都市像に掲げる第6次焼津市総合計画を市の最上位計画として策定し、この将来都市像の実現に向けて諸施策を進めてきました。

多くの市民の思いや希望をのせた将来都市像をデジタルの力を活用することで実現を加速させていきます。

(2) 戦略の基本目標、施策

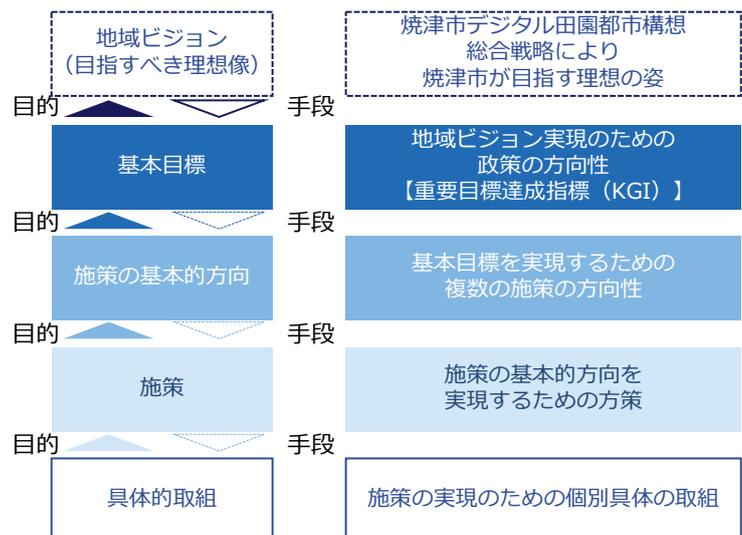
① 施策体系設定の基本的な考え方

デジ田総合戦略を実効性のある戦略にするためには、「地域ビジョン」をより効果的・効率的に実現する手段を検討し、政策への反映が重要です。

そのため、上位階層から目的・手段の論理的関係で構築されるよう施策体系を設定します。

地域ビジョンを着実に実現するために、基本目標ごとに重要目標達成指標(KGI)を設定し、基本目標を推進する施策それぞれにも重要業績評価指標(KPI)を設定します。

施策体系設定の考え方



② 基本目標及び施策体系

目指すべき将来に向けて次のとおり基本目標ごとの成果指標、施策や取組等を設定します。

デジ田総合戦略 基本目標及び施策体系

基本目標	施策の基本的方向	施策
I. しごとをつくり、安定して働けるようにする (雇用)	1 多様な働き方の実現	①多様な働き方の支援 ②働きやすい環境づくり
	2 安定して働ける、より魅力ある場の創出	①企業誘致による雇用の確保 ②創業・事業承継等に対する支援
	3 地域産業の振興	①水産業の競争力強化 ②農業の経営支援 ③商工業の活性化
II. 新しい人の流れをつくる (移住・定住・交流)	1 「住んでみたい・住み続けたいまち」や いづの推進	①移住支援の強化 ②UIターン推進 ③住環境整備の推進
	2 「行きたくなるまち」や いづの推進	①地域資源を活かした交流の推進 ②国際交流の推進
	3 やいづの魅力の浸透	①愛着を高めるシティセールスの推進 ②惹きつける情報発信
III. 安心して結婚・出産・子育てができるようにする (子育て)	1 結婚・妊娠・出産・子育てに 温かいまちづくり	①結婚サポート体制の充実 ②妊娠・出産・乳幼児への支援 ③子育て支援の情報発信と相談支援体制の充実 ④子育ての負担軽減 ⑤子育て環境の向上
	2 未来につなげる教育	①小中学生の豊かな学びの創造 ②教育環境の充実
IV. 誰もが希望と愛着を持ち安心して暮らせる豊かな地域をつくる (地域づくり)	1 地域で支え合い、誰もが活躍できるまちづくり	①健康維持と生きがいづくりの総合支援 ②市民の交流による相互理解の促進 ③包括的支援体制の充実 ④若者が参画するまちづくりの推進
	2 安心して快適に暮らせるまちづくり	①住みやすいまち環境整備の推進 ②災害に強い地域づくり ③地域交通の確保 ④産学官連携による地域課題の解決

③ 横断的軸

総合戦略で重点的に取り組む視点として、4つの基本目標すべてに係る横断的軸を4つ設定し、焼津市が抱える社会課題の解決と地方創生に取り組んでいきます。

シビック プライド

子どものころから地元に興味を持ってもらいながら、地元愛を育むため、教育機関関係団体が地域ぐるみで「ふるさと焼津」を伝える仕組みを作ります。また、都市圏の若者や焼津を好きな方へ向けた情報発信体制の構築による交流・定住人口の増加に取り組めます。

若者と の共創

若い世代の働く場所の確保、住む場所の確保、また子どもが産まれた際には子育て支援を充実させることとともに、住んでいる若者の考え方や感性を取り入れ、便利で楽しく暮らせるような取組が必要です。従来の行政に見られるどこにでもある発想での施策ではなく、個性的な施策を進め、若い世代の発想やアイデアの中にも本市の伝統や文化が混ざり合った感性豊かなまちを目指します。

スマート シティ

焼津市では 2021 年(令和3年)に DX 推進計画を策定し、「デジタルによる、豊かで快適な新しい暮らしの実現」をビジョンに掲げ、スマートシティ YAIZU の取組を開始しました。2022 年(令和4年)には官民連携の推進組織として、焼津市スマートシティ推進検討会を発足しています。オープンデータ連携基盤を構築し、データや先端技術を活用した、新たな市民サービスの提供をスタートしています。この取組を一層進め、デジタルによる豊かで快適な新しい暮らしの実現を目指し、未来の街づくりを進めていきます。



SDGs

SDGs の理念である「誰一人取り残さない」社会を実現するための観点を取り入れ、経済、社会、環境の統合的向上等の要素を反映します。地域における自律的好循環、持続可能なまちづくりを目指した取組を推進することで、政策推進の全体最適化、地域課題解決の加速化等の相乗効果を創出し、地方創生の更なる実現につなげていきます。



I. しごとをつくり、安定して働けるようにする(雇用)

年齢・性別・国籍等、多様な「ひと」へ魅力的な「しごと」の創出を図り、誰もが安心して働けるワークライフバランスの実現を目指します。

また、企業誘致の推進や事業の創業・継続を支援するとともに、食を中心とした焼津ブランドのより一層の向上を図ることで、地域経済の発展を目指します。

成果指標(KGI)	現状値	目標値(R10)
企業誘致数	24社 (R1-R4 累計)	28社 (R6-10 累計)
市内総生産	5,871 億円(R2)	6,113 億円(R8)

関連する SDGs



【施策の基本的方向・施策・KPI】

施策の基本的方向 1 多様な働き方の実現

若者、女性、高齢者、外国人等への就業支援を行うとともに、多様な人材が活躍し働き続けられる環境づくりに取り組みます。

<p>【施策①】 多様な働き方の支援</p> <p>若者と の共創</p> <p>スマート シティ</p>	<p>【KPI】 「やりたい仕事を見つけやすい」主観評価指標 (Well-being 指標) 42.6(R5)⇒50.0(R10)</p> <p>【具体的取組】 多様な人材への就労支援、DX 人材育成支援など</p>
<p>【施策②】 働きやすい環境づくり</p> <p>スマート シティ</p>	<p>【KPI】 ワークライフバランス(仕事と生活の調和)がとれた暮らしができて いると思う市民の割合 50.0%(R10) (目標値参考) 「ワークライフバランス」の言葉も意味も知っている市民の割合 35.4%(R4)</p> <p>【具体的取組】 労働環境や就労形態の見直しに取り組む企業への支援、テレワーク やワーケーションの取組支援など</p>

施策の基本的方向2 安定して働ける、より魅力ある場の創出

企業誘致や土地利用の促進により、地域経済の発展と新規雇用者数の増加を図ります。また、創業や事業継承への支援により、地域の魅力向上と、安定した雇用の場を創出します。

【施策①】 企業誘致による雇用の確保	【KPI】 企業誘致による新規雇用者数 162人(R1-R4 累計)⇒200人(R6-R10 累計) 【具体的取組】 市内企業の事業拡大等への伴走型支援、市内に進出する企業への支援など
【施策②】 創業・事業承継等に対する支援  	【KPI】 創業・事業承継等支援により創業・事業承継に結び付いた件数 23件(R4)⇒155件(R6-R10 累計) 【具体的取組】 創業・事業承継の支援、スタートアップの人材育成及び拠点開設の支援、商工団体への支援など

施策の基本的方向3 地域産業の振興

焼津ブランドの確立や担い手確保に加え、デジタル技術による省力化効率化により、地域産業の振興を図ります。

【施策①】 水産業の競争力強化 	【KPI】 水産加工品のブランド認定品数 20品(R1-R3 累計)⇒34品(R6-R10 累計) 漁業者の確保・育成事業により新規に漁業に就業した人数 11人(R4)⇒17人(R10) 【具体的取組】 水産業振興支援、スマート水産業の推進支援など
【施策②】 農業の経営支援 	【KPI】 担い手農業者数 102人(R4)⇒108人(R10) 農業生産額 35.5億円(R3)⇒36.1億円(R9) 【具体的取組】 農業振興支援、スマート農業の推進支援など
【施策③】 商工業の活性化 	【KPI】 市内の法人市民税納入者数 3,336団体(R4)⇒3,727団体(R10) 地元企業と首都圏等企業のビジネスマッチング件数 13件(R4)⇒31件(R10) 【具体的取組】 地場製品の販路拡大支援、企業のデジタルシフト推進支援など

Ⅱ. 新しい人の流れをつくる(移住・定住・交流)

若者や子育て世代が「しごと」を含めた暮らしを選択するという観点を含め、将来にわたり住み続けたいまちづくりを目指し、安全・安心に関する取組を行います。また、「転職なき移住」をかなえるための取組を進めます。

さらに、訪れた人が焼津市に対する関心を持ち、「関係人口」として多様に関わりを持ち続けてくれるよう、地域の魅力に磨きをかけ、交流の機会を創出します。

加えて、市民等の焼津市への愛着を育むとともに、市外の方の関心や認知度が高まるよう、まちやひとの魅力浸透を図ります。

成果指標(KGI)	現状値	目標値(R10)
社会増	236人/年 (R1-R4 累計)	1,350人 (R6-R10 累計)
市内に5年以上居住している市民の割合	89.2%(R4)	89.4%
観光交流客数	255万人(R4)	425万人

関連するSDGs



【施策の基本的方向・施策・KPI】

施策の基本的方向1「住んでみたい・住み続けたいまち」やいづの推進

焼津で暮らす魅力を「しごと」とかけ合わせて発信するとともに、将来にわたり住み続けたいまちとなるよう、住環境整備への取組を行います。

【施策①】 移住支援の強化 	【KPI】 移住施策により焼津市に移住した人数 37人(R4)⇒2,440人(R6-R10 累計) 【具体的取組】 移住相談・就業支援、移住体験ツアーなど
【施策②】 UIJ ターンズの推進 	【KPI】 UIJ ターンズイベント参加人数 129人(R4)⇒348人(R10) 【具体的取組】 UIJ ターンズ就職への支援、合同企業就職説明会など
【施策③】 住環境整備の推進	【KPI】 住環境に満足している市民の割合 63.4%(R4)⇒69.6%(R10) 【具体的取組】 空き家利活用、土地区画整理など

施策の基本的方向2 「行きたくなるまち」やいづの推進

訪れた人が焼津への関心を持ち、「関係人口」として焼津との多様な関わりを継続してくれるよう、地域の魅力に磨きをかけ、交流の機会を創出します。

<p>【施策①】 地域資源を活かした交流の推進</p> <p>スマート シティ</p>	<p>【KPI】 ふるさと納税寄附件数 475,221件(R4)⇒1,075,000件(R10) 観光レクリエーション客数 224万人(R4)⇒380万人(R10)</p> <p>【具体的取組】 移住体験ツアー、地域おこし協力隊による活動、デジタルを活用した体験型コンテンツの提供など</p>
<p>【施策②】 国際交流の推進</p> <p>若者との共創</p>	<p>【KPI】 国際交流事業の参加者数 1,167人(R4)⇒1,758人(R10)</p> <p>【具体的取組】 ホバート市との姉妹都市交流、モンゴル国との友好交流、スポーツ交流の推進など</p>

施策の基本的方向3 やいづの魅力の浸透

市民を中心とした近隣住民に焼津がより愛されるようなシティセールスに取り組みます。また、焼津の恵まれた自然環境、受け継がれてきた文化や景観、多様な産業や人々の情報を市外に発信することで、焼津への関心と認知度を高め、交流人口や関係人口の拡大を目指します。

<p>【施策①】 愛着を高めるシティセールスの推進</p> <p>シビック プライド</p>	<p>【KPI】 焼津市 LINE 公式アカウントの登録者数 144,000人(R4)⇒247,000人(R10)</p> <p>【具体的取組】 観光プロモーション、SNS の情報発信強化など</p>
<p>【施策②】 惹きつける情報発信</p> <p>スマート シティ</p>	<p>【KPI】 焼津市 HP 市外からのアクセス数 281万回(R4)⇒600万回(R10)</p> <p>【具体的取組】 メディア広告やイベントによる観光プロモーションの推進など</p>

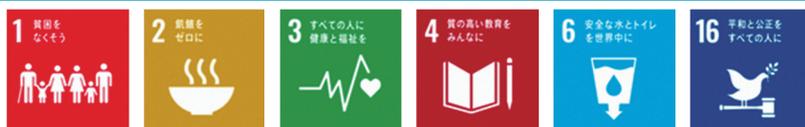
Ⅲ. 安心して結婚・出産・子育てができるようにする(子育て)

焼津で結婚希望を叶え、子どもを安心して産み育てられるように、家庭・学校・地域・事業者・行政等が連携し、結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援に取り組みます。

また、未来を担う子どもたちが心豊かに成長し、自信を持って行動できるよう、環境整備や学校づくりに取り組み、明るい笑顔があふれる社会を目指します。

成果指標(KGI)	現状値	目標値(R10)
安心して産み育てることができると思っている人の割合(高校生以下の子どもがいる世帯)	68.5%(R4)	77.0%
合計特殊出生率	1.29(R4)	1.31
0～18歳の社会増減数	77人(R4)	845人 (R6-R10 累計)

関連する SDGs



【施策の基本的方向・施策・KPI】

施策の基本的方向1 結婚・妊娠・出産・子育てに温かいまちづくり

結婚・妊娠・出産・子育てに対する負担感や不安感を軽減し、子どものいる暮らしに喜びや楽しみを感じることができるよう、支援の充実や情報発信に取り組みます。

【施策①】 結婚サポート体制の充実 スマートシティ	【KPI】 結婚にあたり市の支援を受けた件数 103件(R1-R4 累計)⇒136件(R6-R10 累計) 【具体的取組】 結婚新生活支援、ふじのくに出会いサポートセンターとの連携など
【施策②】 妊娠・出産・乳幼児への支援 スマートシティ	【KPI】 乳児家庭訪問実施の際に相談をし、不安や悩みの軽減が図られた割合 99.0%(R4)⇒100%(R10) 【具体的取組】 妊娠出産にかかる医療費等の助成、伴走型の相談支援体制、出産後の母親ケアなど
【施策③】 子育て支援の情報発信と相談支援体制の充実 スマートシティ	【KPI】 必要と思う市の情報は得られていると思っている市民の割合(高校生以下の子どもがいる世帯) 59.7%(R4)⇒78.6%(R10) 【具体的取組】 相談支援体制の強化、子育て応援サイトによる情報発信など

施策の基本的方向1 地域で支え合い、誰もが活躍できるまちづくり

【施策④】 子育ての負担軽減	【KPI】 「子育て支援・補助が手厚い」主観評価指標(20代～40代) (Well-being 指標) 60.0(R5)⇒60.0(R10) 【具体的取組】 予防接種・医療費の助成、幼児教育・保育の無償化など
【施策⑤】 子育て環境の向上	【KPI】 ターンクルこども館・子育て支援センター・児童館の延べ利用者数 151,670人(R4)⇒190,000人(R10) 【具体的取組】 子育て支援施設の整備、保育者の確保など

施策の基本的方向2 未来につなげる教育

安全・安心で学習しやすい環境の整備や、一人ひとりが主体的に考え行動する「生きる力」を育てる学校づくりを推進します。

【施策①】 小中学生の豊かな学びの創造  	【KPI】 将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合 小学生:79.7%(R4)⇒85.0%(R10) 中学生:61.4%(R4)⇒75.0%(R10) 大変な中でも、失敗を恐れなくて挑戦している児童・生徒の割合 小学生:75.0%(R4)⇒75.0%(R10) 中学生:63.6%(R4)⇒70.0%(R10) ICTを活用した校務の効率化に多く取り組んでいる教員の割合 45.3%(R5)⇒50.3%(R10) 【具体的取組】 特別な支援が必要な児童生徒への支援員等配置、デジタル端末を活用した学びの充実、放課後活動の充実など
【施策②】 教育環境の充実 	【KPI】 教育環境に満足している市民の割合(小学生または中学生以下の子どもがいる世帯) 52.5%(R4)⇒59.9%(R10) 【具体的取組】 GIGA スクール構想実現に向けた学習環境整備、学校環境の整備など

IV. 誰もが希望と愛着を持ち安心して暮らせる豊かな地域をつくる(地域づくり)

地域の「ひと」がお互いに認め合い、交流しながら、誰もがともに支え合い、希望と愛着を持ち活躍できるコミュニティづくりに向けた取組を行います。

さらに、商業・医療・福祉などの都市機能を集約し、交通基盤の利便性を高め、快適な暮らしの実現を目指します。

また、自然災害に対する防災・減災対策を進めることで、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します。

成果指標(KGI)	現状値	目標値(R10)
焼津市が好きな市民の割合	89.7%(R4)	94.5%

関連する SDGs



【施策の基本的方向・施策・KPI】

施策の基本的方向1 地域で支え合い、誰もが活躍できるまちづくり	
地域の「ひと」がお互いを理解・尊重し、顔の見える関係を築き、共に支え合うことで、誰もが希望と生きがいを持っていきいきと暮らせるまちを目指します。	
【施策①】 健康維持と生きがいづくりの総合支援 スマートシティ	【KPI】 心身ともに健康だと思う市民の割合 72.0%(R4)⇒74.6%(R10) 生きがいを感じている市民の割合 67.9%(R4)⇒69.2%(R10) 【具体的取組】 健康づくり事業におけるデジタル化の推進、生きがいづくりの推進支援、スポーツ活動の推進支援など
【施策②】 市民の交流による相互理解の促進 シビックプライド スマートシティ	【KPI】 地域交流センターの利用者数 297,588人(R4)⇒452,000人(R10) 【具体的取組】 地域交流センターを中心とした世代間交流推進、地域交流のオンライン化、多文化共生の地域づくりなど
【施策③】 包括的支援体制の充実 シビックプライド	【KPI】 住民主体の通いの場の数 184箇所(R4)⇒266箇所(R10) 【具体的取組】 地域住民が集う場づくり、地域での介護予防活動の支援、困りごとマルっとサポートセンターの拡充など

施策の基本的方向1 地域で支え合い、誰もが活躍できるまちづくり

<p>【施策④】 若者が参画するまちづくりの推進</p> <p>シビック プライド</p> <p>若者との共創</p> <p>スマート シティ</p>	<p>【KPI】 まちづくり活動に「参加している」、「参加したい」若者の割合〔30代以下〕 26.3%(R4)⇒33.5%(R10)</p> <p>【具体的取組】 若者と共創する地域交流推進、高校生や大学生との協働推進など</p>
---	---

施策の基本的方向2 安心して快適に暮らせるまちづくり

各地域拠点への都市機能の誘導・集約化や公共交通サービスの適切な提供により社会基盤を整備するとともに、地震や水害等の自然災害に対する防災・減災対策の取組を推進します。また、事業所や団体、大学との連携により、地域の課題解決を目指します。

<p>【施策①】 住みやすいまち環境整備の推進</p> <p>シビック プライド</p> <p>スマート シティ</p>	<p>【KPI】 暮らしやすいと感じている市民の割合 70.1%(R4)⇒76.6%(R10)</p> <p>【具体的取組】 公共施設の効率的な運用管理、拠点を核としたまちづくり、公園整備の推進など</p>
<p>【施策②】 災害に強い地域づくり</p> <p>スマート シティ</p>	<p>【KPI】 災害への備えに満足している市民の割合 35.9%(R4)⇒38.8%(R10) 災害への備えをしている市民の割合 44.7%(R4)⇒47.7%(R10) 市民防災リーダー育成講座の受講者数の達成率 97.5%(R4)⇒100%(R10)</p> <p>【具体的取組】 地震・津波対策の強化、市民や地域の防災力強化、災害情報共有システムとスマートシティYAIZUの情報連携によるデータ可視化など</p>
<p>【施策③】 地域交通の確保</p> <p>スマート シティ</p>	<p>【KPI】 公共交通による人口カバー率 93.0%(R4)⇒95.0%(R10) 自主運行バス・デマンドタクシーの利用者数 106,962人(R4)⇒140,000人(R10)</p> <p>【具体的取組】 デジタルによる公共交通の利便性向上、公共交通の利用機会創出など</p>
<p>【施策④】 産学官連携による地域課題の解決</p> <p>シビック プライド</p> <p>若者との共創</p>	<p>【KPI】 事業所・団体と大学のコラボ事業数 1件(R4)⇒6件(R10)</p> <p>【具体的取組】 地域課題解決に向けた大学との連携など</p>

成果指標一覧

成果指標	現状値	目標値
基本目標Ⅰ. しごとをつくり、安定して働けるようにする(雇用)		
施策の基本的方向1 多様な働き方の実現		
「やりたい仕事を見つけやすい」主観評価指標(Well-being 指標)	42.6(R5)	50.0(R10)
ワークライフバランス(仕事と生活の調和)がとれた暮らしができていると思う市民の割合	—	50.0%(R10)
施策の基本的方向2 安定して働ける、より魅力ある場の創出		
企業誘致による新規雇用者数	162人 (R1-R4 累計)	200人 (R6-R10 累計)
創業・事業承継等支援により創業・事業承継に結び付いた件数	23件(R4)	155件 (R6-R10 累計)
施策の基本的方向3 地域産業の振興		
水産加工品のブランド認定品数	20品 (R1-R3 累計)	34品 (R6-R10 累計)
漁業者の確保・育成事業により新規に漁業に就業した人数	11人(R4)	17人(R10)
担い手農業者数	102人(R4)	108人(R10)
農業生産額	35.5億円(R3)	36.1億円(R9)
市内の法人市民税納入者数	3,336団体(R4)	3,727団体(R10)
地元企業と首都圏等企業のビジネスマッチング件数	13件(R4)	31件(R10)
基本目標Ⅱ. 新しい人の流れをつくる(移住・定住・交流)		
施策の基本的方向1 「住んでみたい・住み続けたいまち」やいづの推進		
移住施策により焼津市に移住した人数	37人(R4)	2,440人 (R6-R10 累計)
UIJ ターンイベント参加人数	129人(R4)	348人(R10)
住環境に満足している市民の割合	63.4%(R4)	69.6%(R10)
施策の基本的方向2 「行きたくなるまち」やいづの推進		
ふるさと納税寄附件数	475,221件(R4)	1,075,000件(R10)
観光レクリエーション客数	224万人(R4)	380万人(R10)
国際交流事業の参加者数	1,167人(R4)	1,758人(R10)
施策の基本的方向3 やいづの魅力の浸透		
焼津市 LINE 公式アカウントの登録者数	144,000人(R4)	247,000人(R10)
焼津市 HP 市外からのアクセス数	281万回(R4)	600万回(R10)

成果指標	現状値	目標値
基本目標Ⅲ. 安心して結婚・出産・子育てができるようにする(子育て)		
施策の基本的方向1 結婚・妊娠・出産・子育てに温かいまちづくり		
結婚にあたり市の支援を受けた件数	103件 (R1-R4 累計)	136件 (R6-R10 累計)
乳児家庭訪問実施の際に相談をし、不安や悩みの軽減が図られた割合	99.0%(R4)	100%(R10)
必要と思う市の情報は得られていると思っている市民の割合(高校生以下の子どもがいる世帯)	59.7%(R4)	78.6%(R10)
「子育て支援・補助が手厚い」主観評価指標(20代~40代)	60.0(R5)	60.0(R10)
ターントクルこども館・子育て支援センター・児童館の延べ利用者数	151,670人(R4)	190,000人(R10)
施策の基本的方向2 未来につなげる教育		
将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	小学生:79.7%(R4) 中学生:61.4%(R4)	小学生:85.0%(R10) 中学生:75.0%(R10)
大変なことでも、失敗を恐れなくて挑戦している児童・生徒の割合	小学生:75.0%(R4) 中学生:63.6%(R4)	小学生:75.0%(R10) 中学生:70.0%(R10)
ICTを活用した校務の効率化に多く取り組んでいる教員の割合	45.3%(R5)	50.3%(R10)
教育環境に満足している市民の割合(小学生または中学生以下の子どもがいる世帯)	52.5%(R4)	59.9%(R10)
基本目標Ⅳ. 誰もが希望と愛着を持ち安心して暮らせる豊かな地域をつくる(地域づくり)		
施策の基本的方向1 地域で支え合い、誰もが活躍できるまちづくり		
心身ともに健康だと思う市民の割合	72.0%(R4)	74.6%(R10)
生きがいを感じている市民の割合	67.9%(R4)	69.2%(R10)
地域交流センターの利用者数	297,588人(R4)	452,000人(R10)
住民主体の通いの場の数	184箇所(R4)	266箇所(R10)
まちづくり活動に「参加している」、「参加したい」若者の割合([30代以下])	26.3%(R4)	33.5%(R10)
施策の基本的方向2 安心して快適に暮らせるまちづくり		
暮らしやすいと感じている市民の割合	70.1%(R4)	76.6%(R10)
災害への備えに満足している市民の割合	35.9%(R4)	38.8%(R10)
災害への備えをしている市民の割合	44.7%(R4)	47.7%(R10)
市民防災リーダー育成講座の受講者数の達成率	97.5%(R4)	100%(R10)
公共交通による人口カバー率	93.0%(R4)	95.0%(R10)
自主運行バス・デマンドタクシーの利用者数	106,962人(R4)	140,000人(R10)
事業所・団体と大学のコラボ事業数	1件(R4)	6件(R10)

焼津市デジタル田園都市構想総合戦略

～よろこびと安らぎあふれる 夢をかなえるまち焼津～

令和6年3月

焼津市 政策企画課

〒425-8502 焼津市本町 2-16-32

TEL 054-626-2141 FAX 054-627-9334

ホームページ <https://www.city.yaizu.lg.jp>

